

リュツォ・ホルム湾の海氷状況について

2022年6月

国立極地研究所 南極観測センター

第63次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中や第64次隊夏期の行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地における目視・気象・潮汐観測によって、「しらせ」航路周辺や基地接岸点付近の海氷状況を監視している。

昨年2021年の氷状の主な特徴

- オングル海峡の定着氷は安定していた。
- 湾内で広域におよぶ開水面や割れ込みは発生しなかった。
- 湾北方の定着氷縁は3月上旬時点で最も南下し、68°57'S付近に位置した。

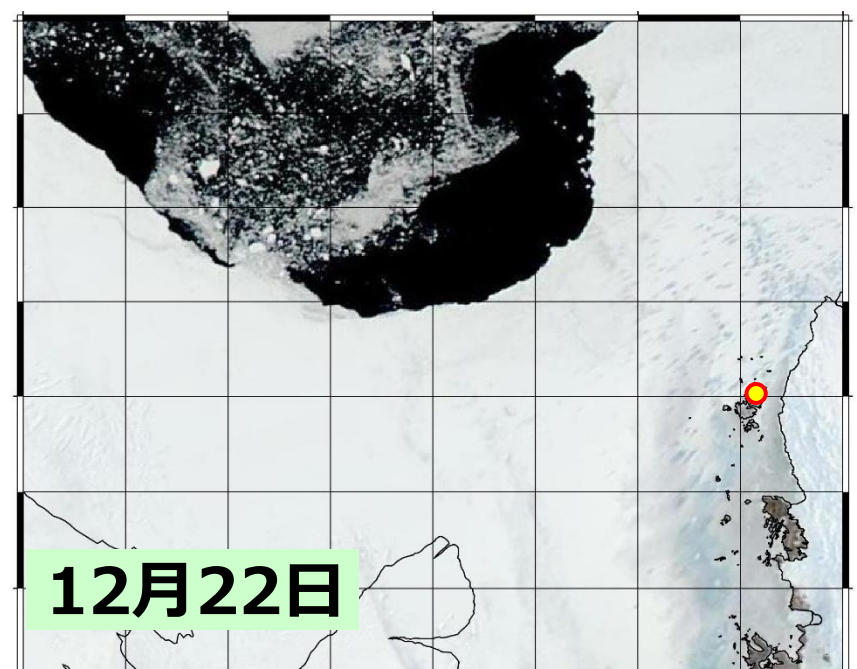
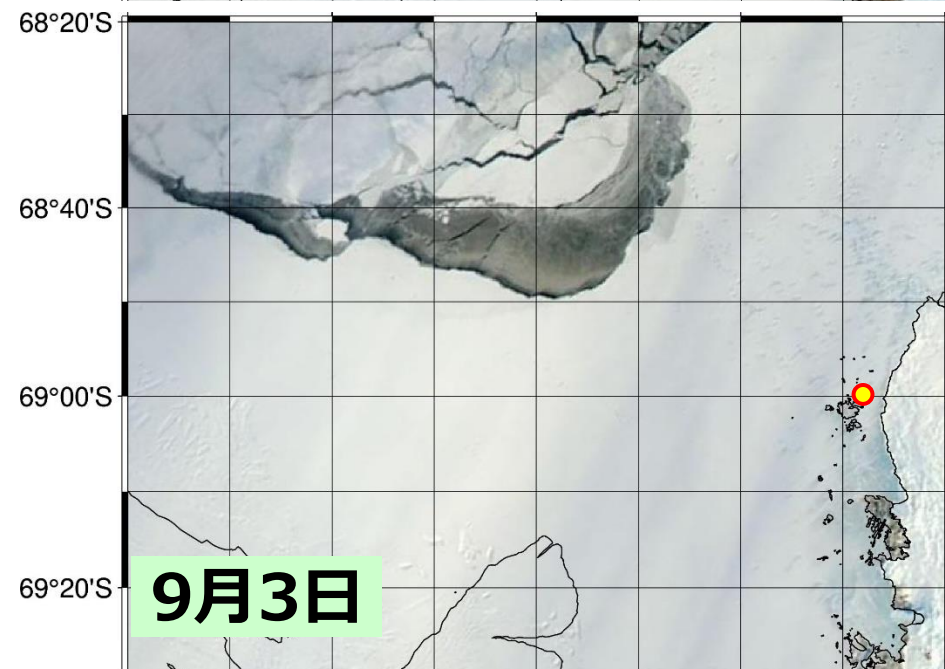
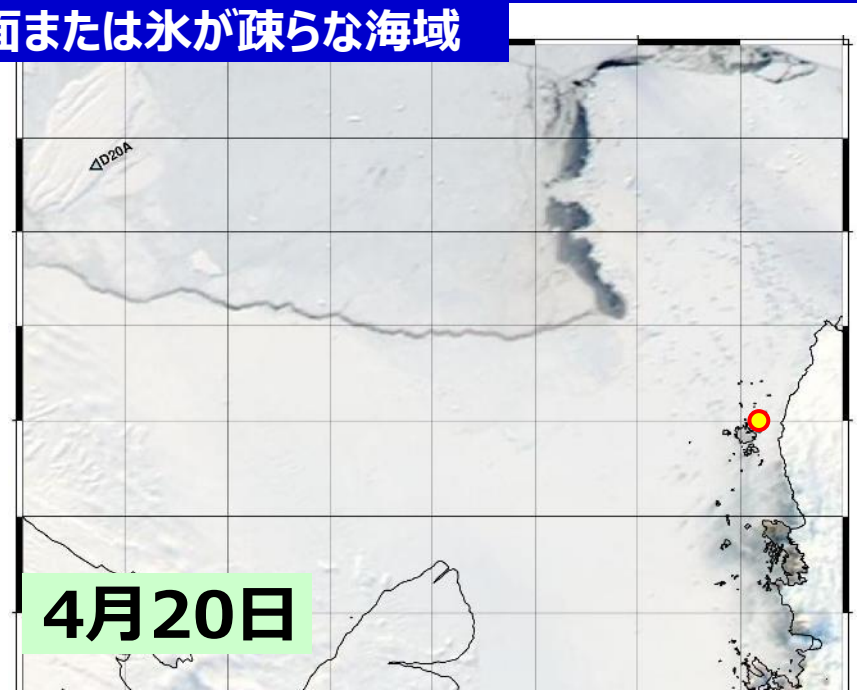
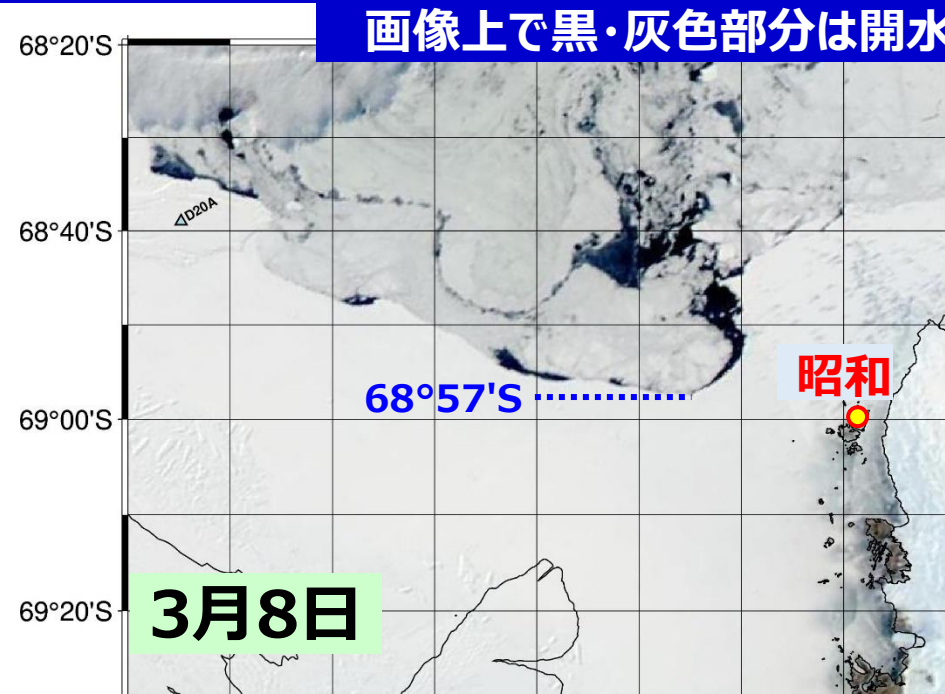
2022年1月以降の状況

- 湾内で**4月下旬**、広域の割れ込みが発生し、昨年の「しらせ」航路に当たる**弁天島周辺の多年氷域が崩壊**した。以降、凍結と流出を繰返している。
- 海峡の定着氷は6月初旬時点で安定しており、「しらせ」航路付近の4月上旬の氷厚は106～188cm、積雪なし。

現地越冬隊からの提供情報も参考に、氷状監視を継続する。

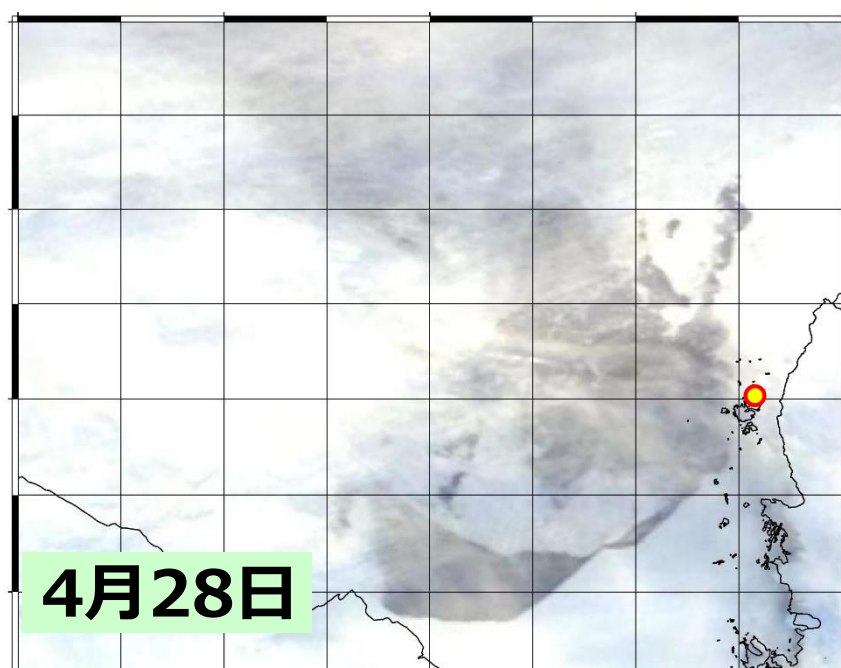
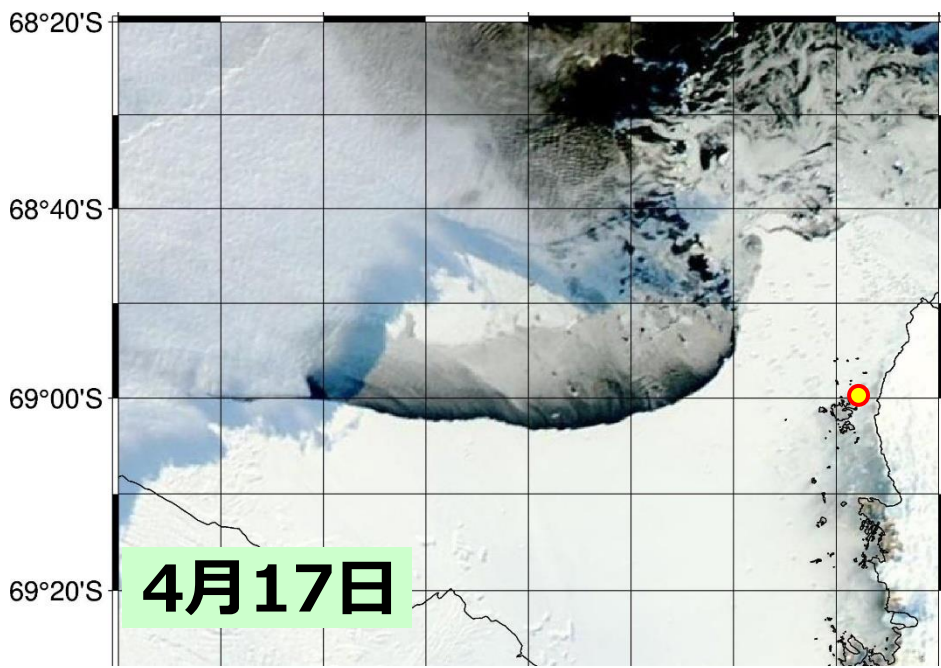
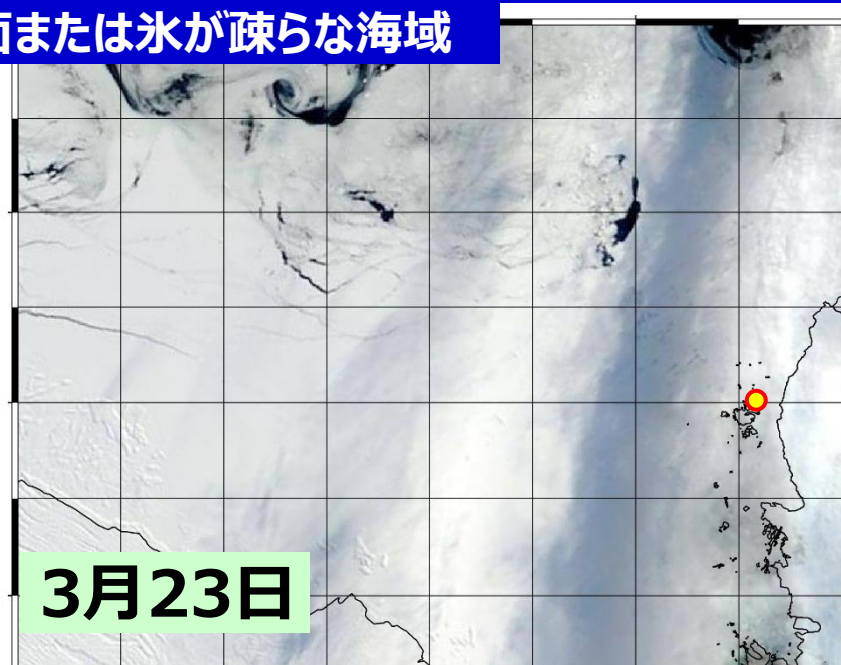
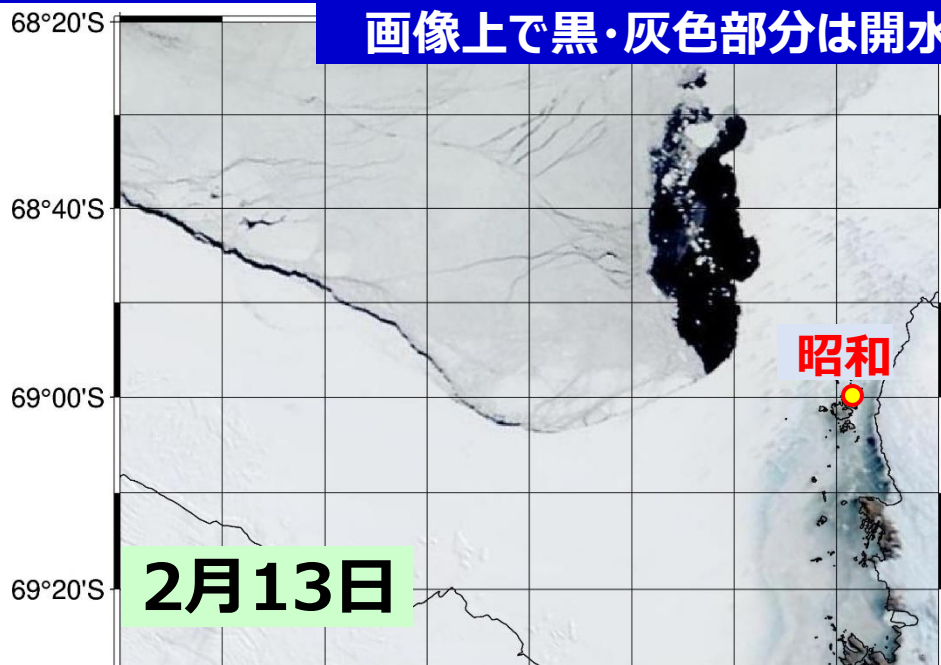
昨年2021年の湾内定着氷の変化

画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



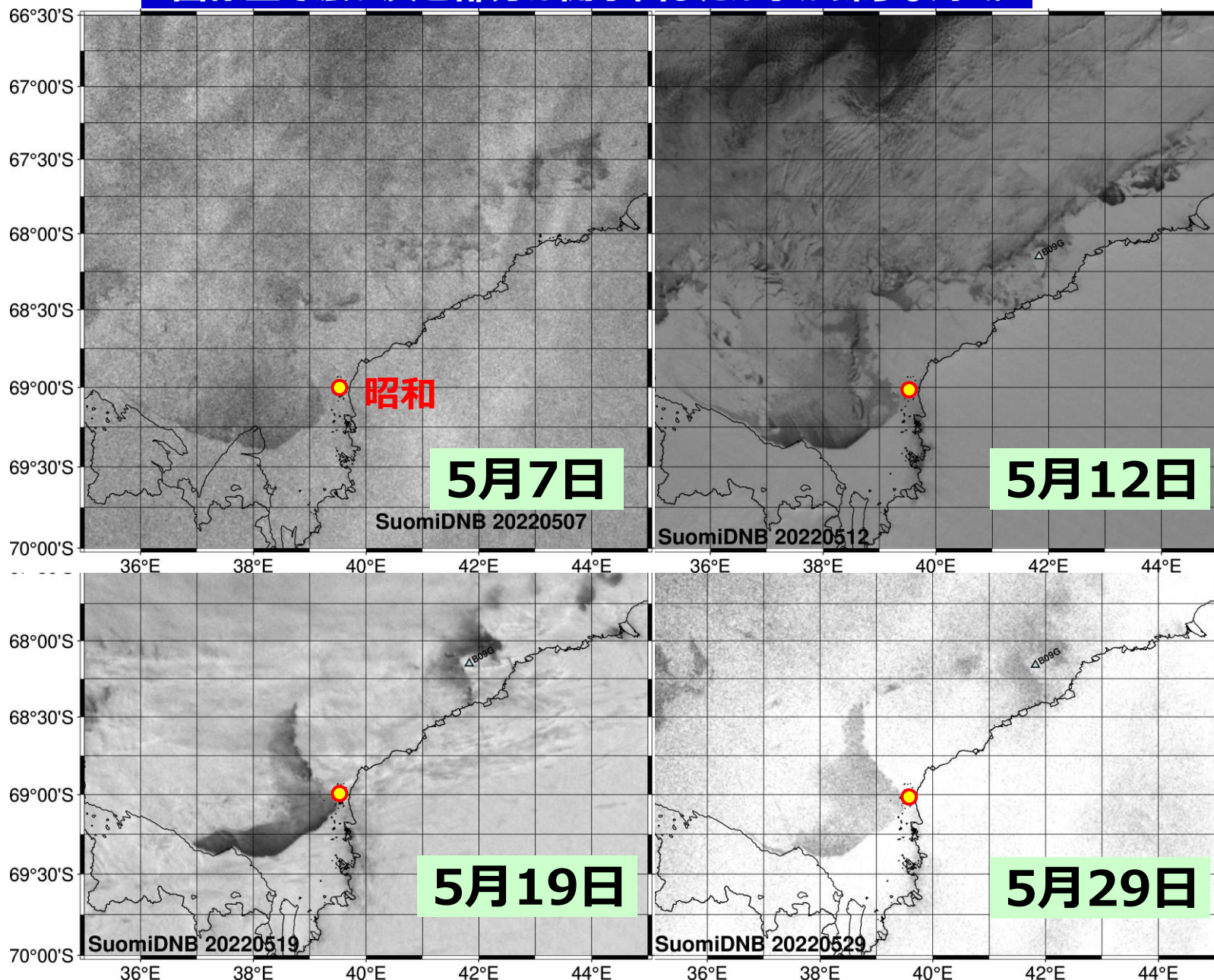
2022年2-4月の湾内定着氷の変化

画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域

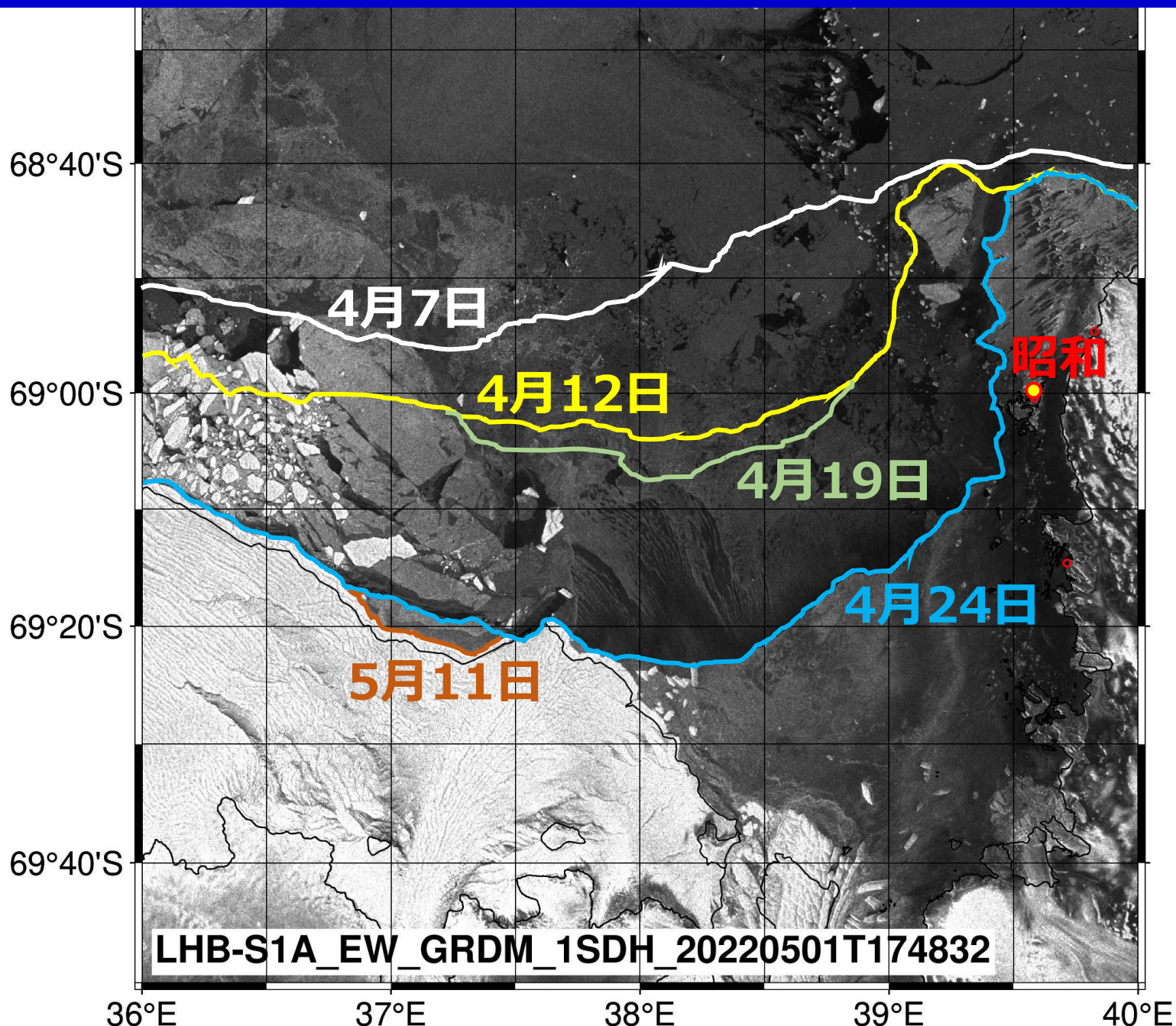


2022年5月の湾内定着氷の変化

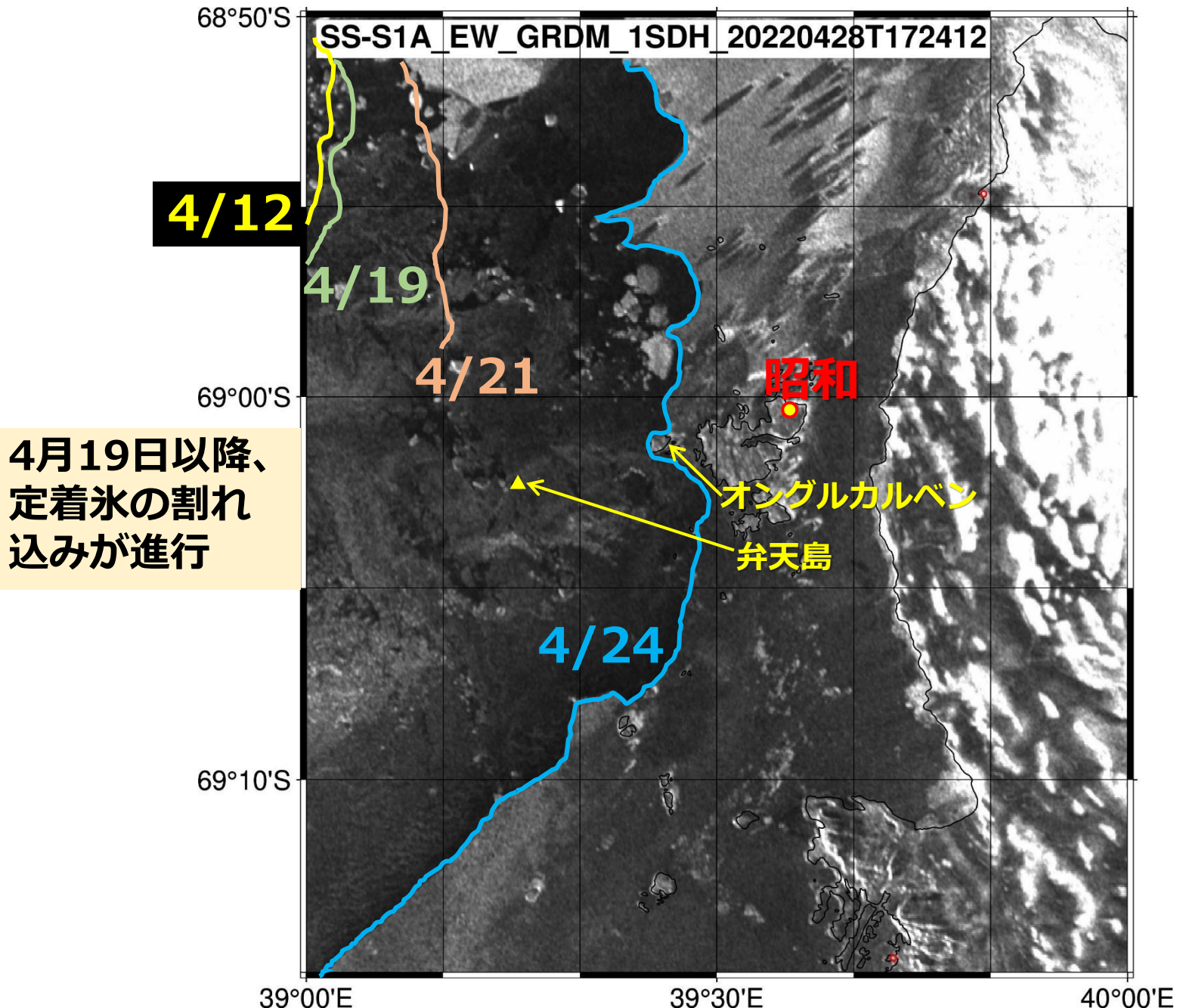
画像上で濃い灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



2022年4月-5月の湾内定着氷縁 (合成開口レーダー画像)



2022年4月の昭和基地付近の定着氷縁 (合成開口レーダー画像)

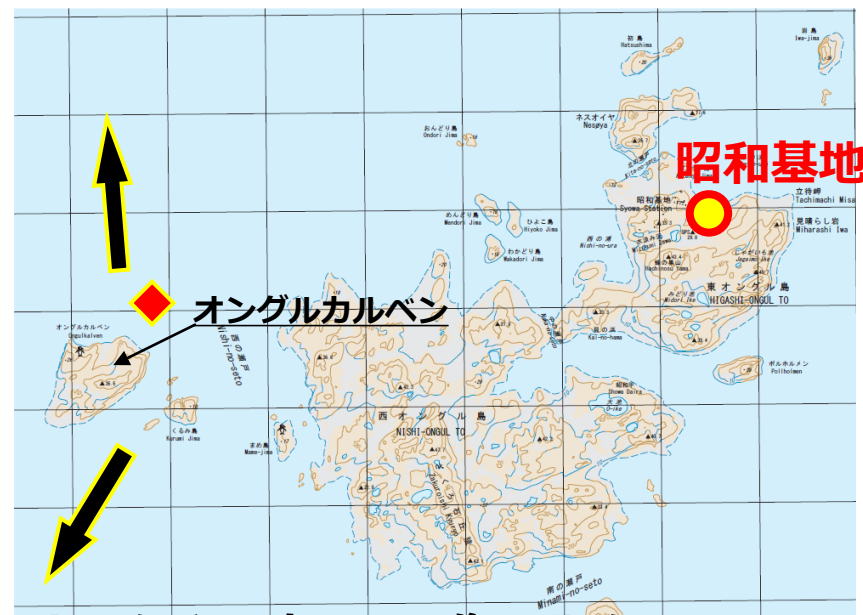


昭和基地西方の定着氷の割れ込み

(4月25日、63次越冬隊撮影)

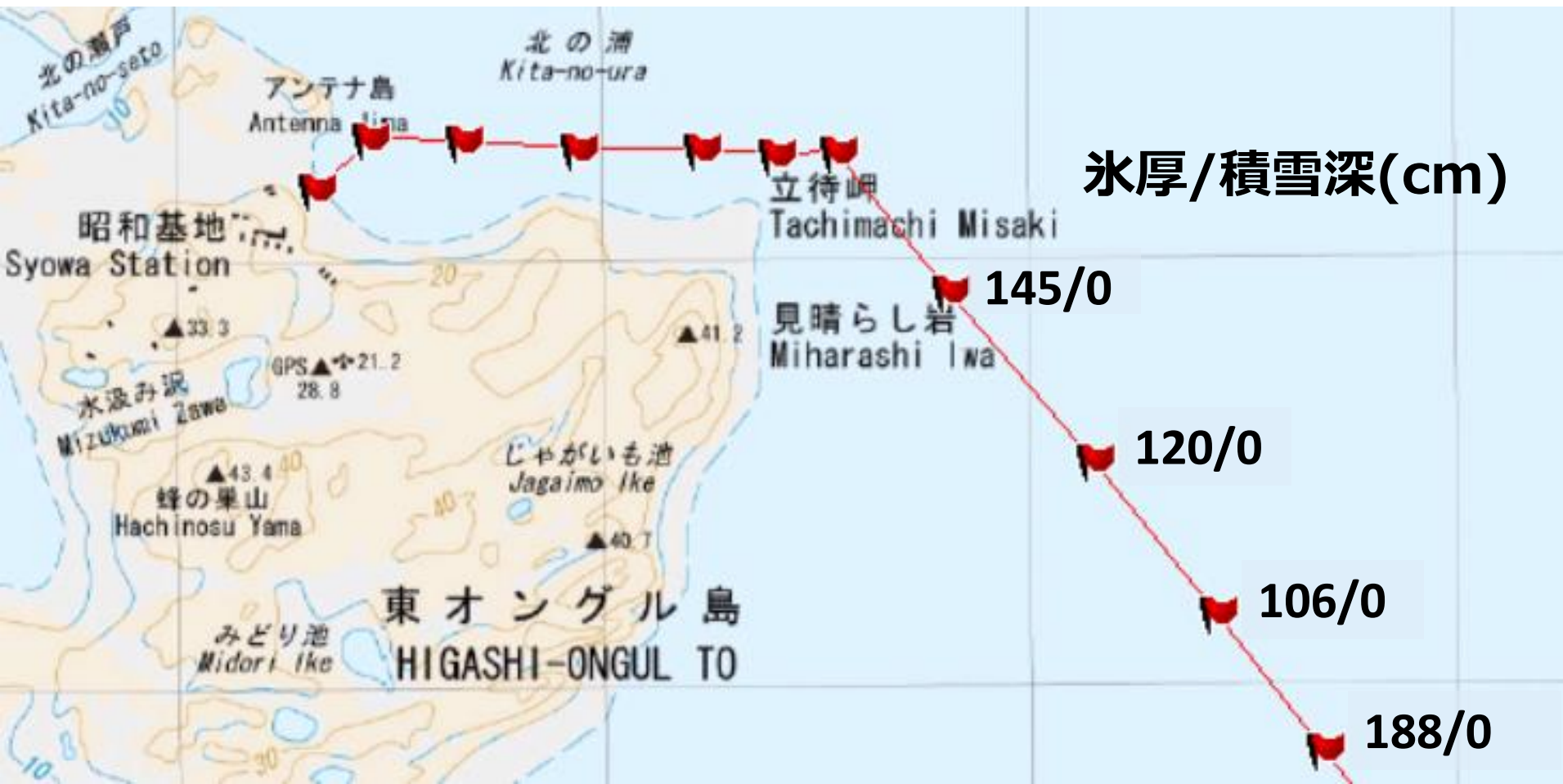


オングルカルベン北方から
無人航空機にて撮影



太い矢印は左の2画像の方向

オングル海峡の氷厚 (4月6日、63次越冬隊計測)



氷厚/積雪深(cm)

145/0

120/0

106/0

188/0